

令和 5・6 年度複合構造委員会 第 9 回幹事会 議事録

日 時：2024(令和 6)年 9 月 4 日(水) 14:00～17:00

場 所：鹿島建設東北支店 601 会議室+ Web 併用 (Zoom)

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

配布資料：

- 幹9-0 令和5・6年度複合構造委員会第9回幹事会議事次第
- 幹9-1 令和5・6年度複合構造委員会第8回幹事会議事録（案）
- 幹9-2 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹9-3 令和6年度委員会予算執行状況
- 幹9-4 2025年度重点研究課題
- 幹9-5 令和6年度全国大会・研究討論会
- 幹9-6 令和6年度全国大会・共通セッション
- 幹9-7 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹9-8 土木学会論文集特集号（複合構造）
- 幹9-9 複合構造の継続教育
- 幹9-10 300年暴露PJ報告
- 幹9-11-1 出版関連報告
- 幹9-11-2 企画書提出後のフロー
- 幹9-12 ~~ホームページ関連報告~~
- 幹9-13 「土木学会略史（2014-2024）（仮称）」原稿について
- 幹9-14 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹9-15 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹9-16 ~~H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会~~
- 幹9-17 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹9-17-1 出版企画書-2025年度募集用_H220
- 幹9-17-2 販売促進活動計画書2025年度企画用_H220
- 幹9-18 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹9-19 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹9-20 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹9-21 第11回幹事会（2024年12月12日）について
- 幹9-22 委員会審議結果報告（令和6年度委員会予算，H111委員構成）

議事内容：

1. 委員長挨拶

牧委員長より開会の挨拶がなされた。

土木学会全国大会が仙台での開催であり，幹事会も仙台開催となった。

9月2日に研究討論会が配信され250名ほどの視聴者数であった。皆さまのご協力に感謝する。

2. 複合構造委員会第8回幹事会議事録(案) (幹9-1)

皆田幹事長より説明があり，以下を修正する。

複合構造委員会第3回委員会議事録(案)の，以下を修正することで承認された。→以下を修正することで確認された。

3. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担 (幹9-2)

皆田幹事長より資料について説明があった。

- ・H111の参加委員を追加した。
- ・他委員会への参加委員会の情報は，各幹事から申告していただくことになった。

4. 委員会審議結果報告(令和6年度委員会予算，H111委員構成) (幹9-22)

皆田幹事長より説明があり。

- ・R6年度の委員会予算配分についてはメール審議にて承認された。
- ・H111委員構成がメール審議にて承認された。また，別途，委員参加要請を行ったが，NEXCO総研から1名参加希望があった。

5. 令和6年度委員会予算執行状況 (幹9-3)

皆田幹事長より説明があった。

- ・小田原の現場見学会の費用は予備費に計上した。
- ・H221のテキスト購入代が計上されている。

6. 2025年度重点研究課題 (幹9-4)

川端幹事・藤林幹事より説明があった。

- ・2025年度の募集期間が10月1日から12月20日で対象研究の決定は1月末の予定である。
- ・2025年の申請状況として，構造工学委員会からカーボンニュートラルに関する件について複合構造委員会，コンクリート委員会，鋼構造委員会がOKであれば積極的に応募予定であり，複合構造委員会も賛同する方向で考えたい。
- ・複数応募も可能なので，複合構造委員会として個別の応募もできる。
- ・H111との関係は，連携する形になり活動の一部が関連することになり，委員も重複することになる。
- ・カーボンニュートラル関連とは具体的には，大きく2つあり，パネルディスカッションを実施することと，カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方の提言を考えている。
- ・他の委員会の参加判断はいつごろになるかは現状不明である。

- ・複合構造委員会としては並列して別のテーマの下準備はしておく。来年以降も募集があるのでヒントになるようにしておく。

7. 令和6年度全国大会・研究討論会（幹9-5）

塩畑幹事より報告があった。

- ・9月2日の10時～12時に配信された。視聴者数は約250名であった。
- ・グーグルフォームで質問を2件受け、質問者に回答した。

8. 令和6年度全国大会・共通セッション（幹9-6）

川端幹事よりプログラム編成結果の説明があった。

- ・明日、明後日のセッションへの参加をよろしくお願ひしたい。

9. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹9-7）

大山副委員長より説明があった。

- ・投稿の締め切りが8月23日から1週間延長して8月30日とした。投稿数は31件であった。
- ・特別講演が確定できていない状況であるが、9月13日にシンポジウム小委員会開催までには決定したい。
- ・論文をダウンロードしていただく専用ウェブサイトは学会側でできるとのことであるが、次回の小委員会で調整する予定である。

10. 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹9-8）

櫻庭幹事より説明があった。

- ・9/30に編集小委員会を開催する予定である。
- ・今年度から6/末の公開になる。
- ・次回号の小委員会報告として、H110の執筆をお願いすることとなった。1/末目途の提出となる。H220は終了しておらず、次々回以降に依頼することになった。
- ・土論編集調整会議からの特集号英文誌に関する予備調査の依頼について、ESCI 収載にあたり、各特集号にも対応が求められており、今後の方針決定に向けた予備調査の依頼があった。事務局から案1～3が提示されており、複合としては案1で考えたい。
- ・案1のデメリットについて、複合は通常号と同じ審査をしているため影響は少ないと考えている。他の委員会は査読のやり方が違うところがあるので影響が大きくなると思われる。
- ・現段階では英文誌に対しての検討で、統一したルールで掲載したいというのが事務局の希望である。英文に限っているのは、まずESCI申請で統一したく、和文誌も今後検討することになると思われる。
- ・英文の投稿規定については通常号に沿って実施している。
- ・幹事会としては案1とする。募集の仕方がどうなるのかが見えない。

11. 複合構造の継続教育（幹9-9）

齋藤幹事より説明があった。

- ・9月10日にセミナーWG開催予定である。
- ・学会誌には来月号掲載予定である。
- ・第8回の複合セミナーは11月26日開催予定で、開会挨拶は牧委員長、閉会挨拶は大山副委員長にお願いする。
- ・e-ラーニングWGは、基礎からわかる複合構造の初版のPPTをたたき台として資料を作成している。
- ・資料作成担当＝講師ではなく、適任の方を選出していく予定である。
- ・計算事例、FEM解析事例の収集は親委員会に呼びかける。
- ・現場見学会は候補現場を今後、探していくことになる。

12. 300年暴露PJ報告（幹9-10）

皆田幹事長より説明があった。

- ・小委員会メンバーに12月12日の開催案内を行った。
- ・FRPは秋ころから暴露が開始できそうとのことである。櫻庭幹事が海外留学中のため土研の窓口の調整が必要となる。

13. 出版関係報告（幹9-11）

平幹事より説明があった。

- ・増刷部数の欄を追加したので、他に入っていないところがあれば連絡をお願いしたい。増刷分の原価回収部数については土木学会事務局に確認する。
- ・出版企画のスケジュールは9月30日締め切りであり、その後、出版幹事会にて審議される。10月22日にヒアリングがある。ヒアリングは出版幹事会で気になるところをピックアップしてヒアリングで説明を受けることになるため、必ずしもすべての出版企画に対して行われるものではない。

14. ホームページ関連報告

山本幹事より説明があった。

- ・H223の委員募集が開始されたのでHPに掲載した。
- ・News新着情報の記事で古いものは消去しているので、アーカイブで残すかどうか調整する必要がある。
- ・発刊情報が古くなっている。出版物の構成を調整する必要がある。

15. 「土木学会略史（2014-2024）（仮称）」原稿について（幹9-13）

皆田幹事長より説明があった。

- ・2014年～2024年の原稿案について最新情報を基に執筆した。
- ・シンポジウムの見学会は表内に記載する。
- ・委員会活動の課題および将来計画・展望は牧委員長に執筆をお願いする。
- ・原稿案をメール送付するので、内容を確認していただき、追加修正事項があれば連絡してほしい。

16. 小委員会報告審議事項（出版企画書含む）

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会 (幹 9-14)

牧委員長より報告があった。

9月9日に小委員会委員長、幹事長と幹事数名で読み合わせを行う。10月頃に親委員会と学会外部に意見照会をする予定。来年1月の親委員会で審議をお願いする予定で、原稿の完成は年度内、発刊は来年度になる見込みである。

(2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会 (幹 9-15)

牧委員長より報告があった。

9月17日に第7回小委員会が開催予定で、報告書は2025年8月脱稿、11月に報告会開催予定である。出版計画は作成して幹事会にメール配信して確認することになった。

(3) H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会

川端幹事より、現在は委員編成中であるとの報告があった。

(4) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会 (幹 9-17)

川端幹事より報告があった。

出版企画書を作成した。出版数を300部としているが、親委員会等への贈呈100部を追加する方向で、小委員会内で検討する。

(5) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会 (幹9-18)

橋本幹事より報告があった。

8月28日幹事会開催し、報告書の執筆内容の確認を行った。9月19日小委員会で執筆者を決定する。

出版計画を作成した。発行部数は300部としているが、親委員会等への贈呈100部を追加する方向で、小委員会内で検討する。

講習会は2025年12月15日に東京で、2026年1月15日に大阪で開催する予定である。

(6) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会 (幹 9-19)

内藤幹事より報告があった。

9月19日に小委員会開催予定である。

(7) H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会 (幹 9-20)

皆田幹事長より報告があった。

委員募集を開始した。15名公募で締め切ることはなく、応募者がいれば受け入れてもらいたい。

20. その他 (幹9-21)

・第11回幹事会 (2024年12月12日) について

皆田幹事長より報告があった。

12月12日の幹事会は、14時から大阪工業大学八幡工学実験場に変更した。

平幹事より、12月13日に滋賀県大津市で鹿島建設が施工中のNEXCO現場（2層アーチ）の見学会の提案があったので、開催調整することとなった。

16. 閉会挨拶

- ・大山副委員長より閉会の挨拶がなされた。

以 上
(記録：大久保)